

# 2017年12月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社エナリス  
証券コード：6079

**ENERES**

## 2017年12月期 第1四半期 業績比較

	2016年 12月期 第1四半期 累計 (前期)	2017年 12月期 第1四半期 累計 (今期)	前期比	増減額
売上高	16,027	12,462	△22.2%	△3,565
営業利益	440	55	△87.4%	△385
経常利益	127	6	△95.3%	△121
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△182	153	-	+336

(百万円)

## 2017年12月期 第1四半期 概要

- **売上高**は、「代理購入サービス」から「エネルギーエージェントサービス」へのスキーム変更（※7ページ参照）等により、前年同期に比べ3,565百万円減少
- **営業利益**は、「電源開発」の販売案件の整理がついたことや、エネルギーマネジメント事業の利益率低下により、売上総利益が前年同期に比べ366百万円減少したこと、また、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ18百万円増加したこと等により、前年同期に比べ385百万円減少
- **経常利益**は、前年同期に比べ121百万円減少
- **親会社株主に帰属する四半期純利益**は、特別利益として受取補償金180百万を計上したこと等により、153百万円（前年同期は182百万円の損失）を計上

## 前年度末 貸借対照表 比較

	2016年 12月期末	2017年 12月期 第1四半期末	増減額
流動資産	13,439	11,797	△1,641
固定資産	7,533	7,493	△40
負債	18,521	16,648	△1,873
純資産	2,451	2,642	+191

(百万円)

- 流動資産は、対前年度末より  
1,641百万円 **減少**
- 固定資産は、対前年度末より  
40百万円 **減少**
- 負債は、対前年度末より  
1,873百万円 **減少**
- 純資産は、対前年度末より  
191百万円 **増加**

## 業界ハイライト

- 昨年4月に自由化された低圧分野において、新電力へのスイッチングは、本年1月末時点で約246万件（約3.9%）。昨年5月以降、月20万件のペースで着実に増加している。
- 2000年以降、順次自由化されてきた特別高圧・高圧分野における新電力のシェアは、昨年4月の全面自由化以降、大きく伸びており、昨年12月時点では約12%となっている。
- 小売電気事業者の登録数：394事業者（2017年4月25日現在）  
（資源エネルギー庁「電力小売全面自由化の進捗状況」（2017年4月21日）等より引用）

## 部門別売上実績

		2016年 12月期 第1四半期 (売上高総利益率)	2017年 12月期 第1四半期 (売上高総利益率)	前期比	増減額
エネルギー マネジ メント 事業	小売電気事業者向け 需給管理サービス	198	248	+25.0%	+49
	エネルギーサービス	12,900	8,317	△35.5%	△4,583
	その他	119	8	△93.3%	△111
	計	13,219 (5.5%)	8,573 (5.2%)	△35.1%	△4,645
パワー マーケ ティング 事業	電力卸取引	2,182	3,852	+76.5%	+1,669
	電源開発	626	37	△94.0%	△588
	計	2,808 (14.5%)	3,889 ( 8.5%)	+38.5%	+1,080
合 計		16,027	12,462	△22.2%	△3,565

(百万円)

※エネルギーマネジメント事業内のその他にはHEMS・MEMS等を含みます。

#### 顧客別サービス区分による売上実績

	2016年 12月期 第1四半期 (売上高総利益率)	2017年 12月期 第1四半期 (売上高総利益率)	前期比	増減額
法人需要家向けサービス (エネルギーエージェントサービス)	13,020 (4.6%)	8,325 (3.2%)	△36.1%	△4,695
新電力事業者向け サービス	2,381 (15.1%)	4,100 (11.5%)	+72.2%	+1,719
その他	626 (28.9%)	37 (83.4%)	△94.0%	△588
合 計	16,027	12,462	△22.2%	△3,565

(百万円)

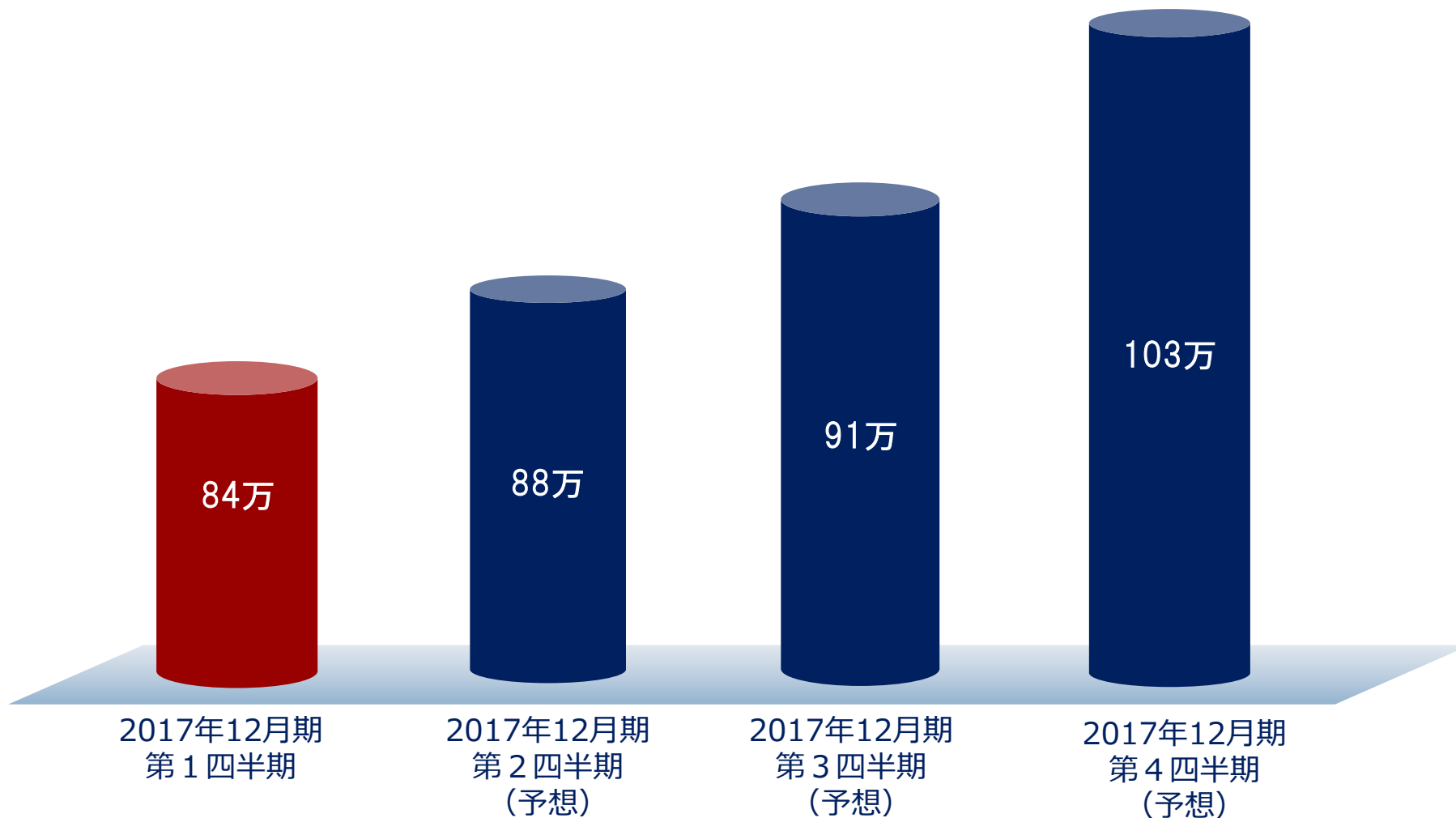
※法人需要家向けサービスは、エネルギーマネジメント事業の“エネルギーサービス”と“その他”です。

※新電力向けサービスは、エネルギーマネジメント事業の“小売電気事業者向け需給管理サービス”とパワーマーケティング事業の“電力卸取引”です。

※その他は、パワーマーケティング事業の“電源開発”です。

### エネルギーエージェントサービスにおける管理電力

(単位：kW キロワット)



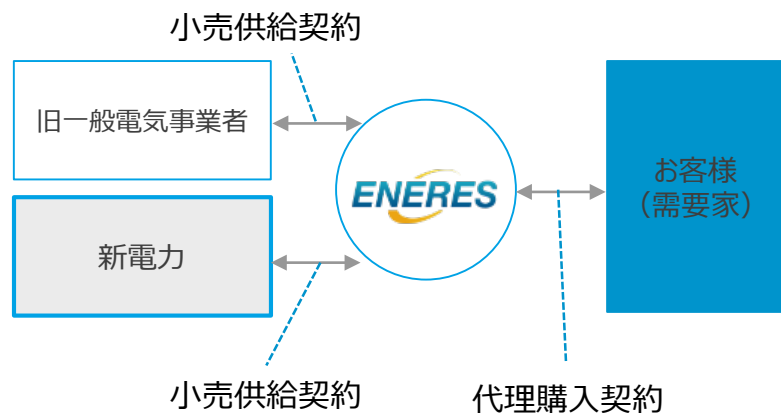
「電力の小売営業に関する指針」の制定による「電力代理購入サービス」から「エネルギーエージェントサービス」へのスキーム変更にともない、売上高に影響が生じています（利益面への影響はありません）。

## スキーム（契約形態）の変更～収益モデルの変化

### < 変更前 >

事業名	部門名	サービス名
エネルギーマネジメント事業	エネルギーサービス	電力代理購入サービス
		FALCON SYSTEM販売
		その他

- 顧客への電力供給（旧一般電気事業者と新電力）のフロントとして電力を一括管理し、**顧客より電力代理購入サービス料金を得る**



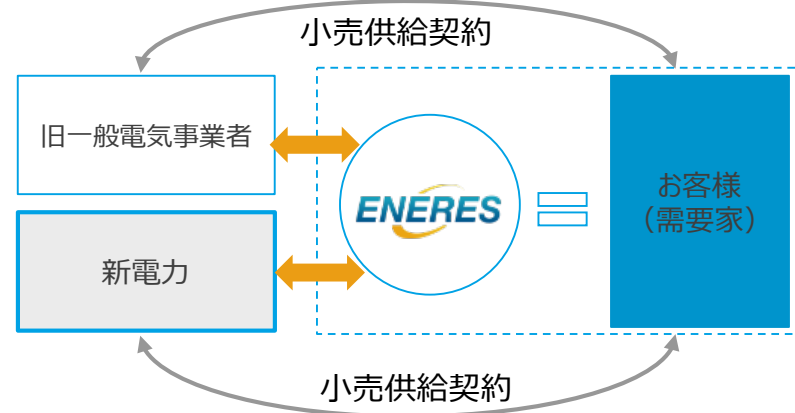
※当社の新電力は、エナリス・パワー・マーケティング、湘南電力、S-CORE

### < 変更後 >

事業名	部門名	サービス名
エネルギーマネジメント事業	エネルギーサービス	エネルギーエージェントサービス
		FALCON SYSTEM販売
		その他

- 小売供給契約の主体は新電力と需要家（顧客）となり、顧客に代わって、新電力との料金交渉や料金請求等を取りまとめて行う

⇔ 契約手続き代行、料金請求取り纏め、料金交渉など



「電力の小売営業に関する指針」(平成28年1月 経済産業省)にて、電気事業法の規制の対象外と整理された【需要家代理モデル】を踏襲したスキームへ変更